

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載 URL <a href="http://www.kissei.co.jp/">http://www.kissei.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

### 【お知らせ】

株券電子化によるご注意

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
3. 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書により各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合せください。
4. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# 第 65 期 報告書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)



盛夏－涸沢のお花畑

# 目次

株主の皆様へ	P 2
業績ハイライト（連結・個別）	P 3~4
事業の概況（連結）	P 5~6
研究開発の状況	P 7
トピックス	P 8
財務諸表（連結）	P 9~10
財務諸表（個別）	P 11
製商品の紹介	P 12
株式の状況	P 13
会社の概要	P 14



橘の花

## 「キッセイ」の由来

「キッセイ」は1946年創立。当時は、初代社長・雨森正五郎の家紋である“橘”を冠した株式会社橘<sup>たちばなせい</sup>生<sup>か</sup>化学<sup>がく</sup>研究所としてスタートしました。翌年橘<sup>きっせい</sup>生<sup>せい</sup>薬品工業株式会社と改称され、1964年に現社名の「キッセイ薬品工業株式会社」となりました。

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第65期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の事業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

一昨年の世界的な金融危機に端を発した不況から回復し、株式市場も金融危機以前の水準にまで戻った国もありますが、我が国においては円高ドル安基調や設備過剰感に加え雇用不安、財政赤字、少子高齢化等まだまだ多くの問題を抱え、回復は緩慢で予断を許さない状況といえます。政府は、財政再建と景気回復を両立させるための施策に取り組んでおり、その中で膨張する社会保障費抑制の観点から医療費抑制施策が推し進められ、後発品使用促進政策等の薬剤費抑制策が実施されています。このような情勢の中で医薬品事業におきましては、排尿障害改善薬「ユリーフ<sup>®</sup>」は新たに錠剤を発売するとともに、チアゾリジン系薬剤との併用療法の効能追加の承認を取得した糖尿病治療薬「グルファスト<sup>®</sup>」と口腔乾燥症状改善薬「サラジェン<sup>®</sup>」の育成を図りました。また、当社が創製し海外に技術導出しました前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）につきましては、ワトソン社（アメリカ）では製品名「RAPAFLO<sup>®</sup>」として、またチョンウェ製薬（韓国）では製品名「THRUPAS<sup>®</sup>」として新発売され、中期3ヵ年計画「チェンジングプラン」の目標の1つである安定的な海外収益基盤確立に向け推進いたしました。

研究開発面では、共同開発先である日本ケミカルリサーチ株式会社より承認申請されました腎性貧血治療薬が、本年1月20日付けで「エポエチンアルファBS注JCR」として製造販売承認の取得がなされましたことから、発売に向けた準備を進めました。また、悪性中皮腫治療薬（抗CD26ヒト化抗体、開発番号YS110）の臨床試験を開始するなど、開発パイプラインの強化・充実のために各テーマの研究開発を推進いたしました。

また、その他の事業におきましては、厳しい状況ではありますが経営基盤の強化に努め、長期的、多角的な見地に立ち各機能の更なる競争力強化とそれを支える高い生産性の基盤構築、そしてグループ経営の強化に全力で取り組みました。

当社は「創薬研究開発型企业」として成長を目指し、企業価値向上に努めるとともに、芸術や文化などへの貢献を含め、企業市民として社会に貢献してまいります。

今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



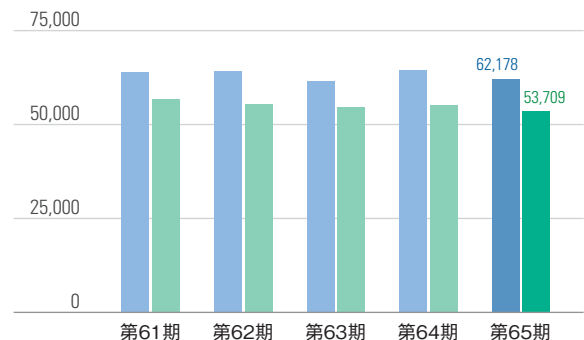
代表取締役社長 神津陸雄



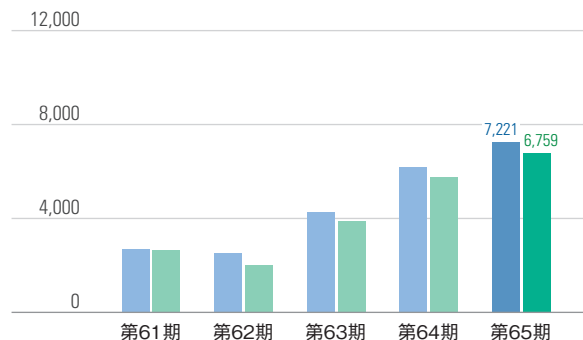
## 業績ハイライト（連結・個別）

■ 連結 ■ 個別

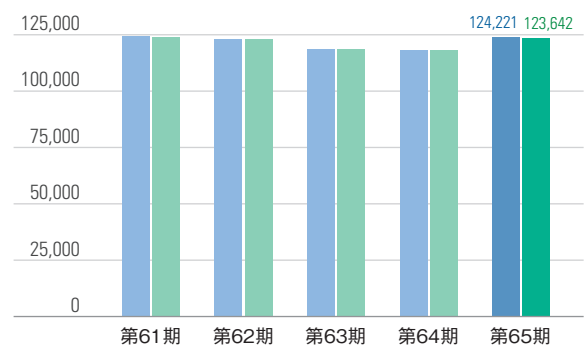
●売上高 (百万円)



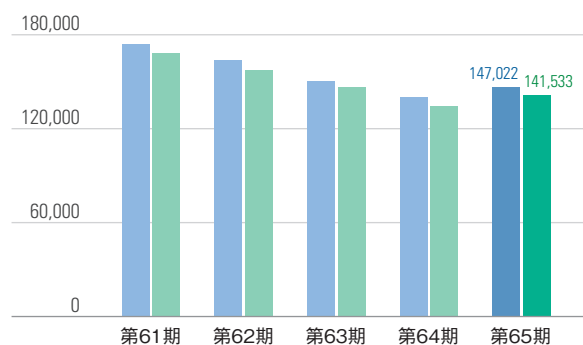
●経常利益 (百万円)



●純資産額 (百万円)



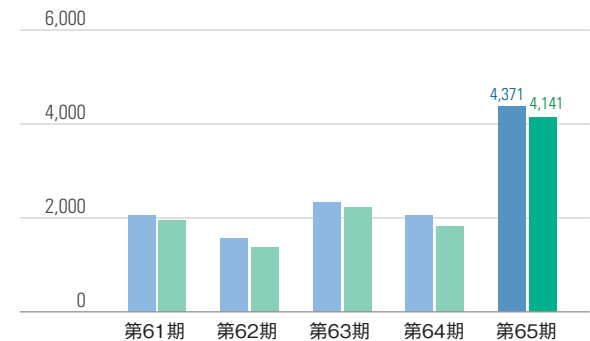
●総資産額 (百万円)



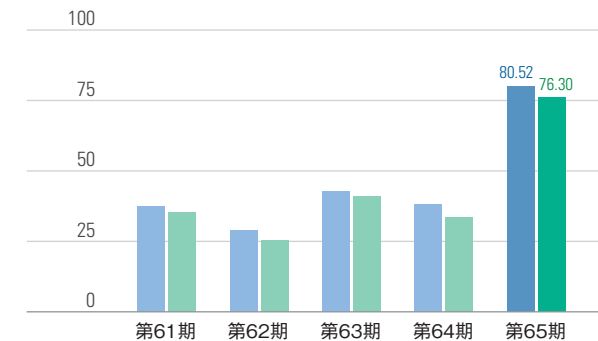
連結		第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
売上高	(百万円)	64,007	64,215	61,480	64,535	62,178
経常利益	(百万円)	2,700	2,520	4,257	6,174	7,221
当期純利益	(百万円)	2,045	1,570	2,325	2,061	4,371
純資産額	(百万円)	124,259	123,232	118,775	118,415	124,221
総資産額	(百万円)	174,114	163,583	150,566	140,181	147,022
1株当たり当期純利益	(円)	37.31	28.93	42.86	37.98	80.52
1株当たり純資産額	(円)	2,288.70	2,268.85	2,186.21	2,177.96	2,285.37
自己資本比率	(%)	71.4	75.3	78.8	84.4	84.4
自己資本当期純利益率	(%)	1.7	1.3	1.9	1.7	3.6

## 業績ハイライト（連結・個別）

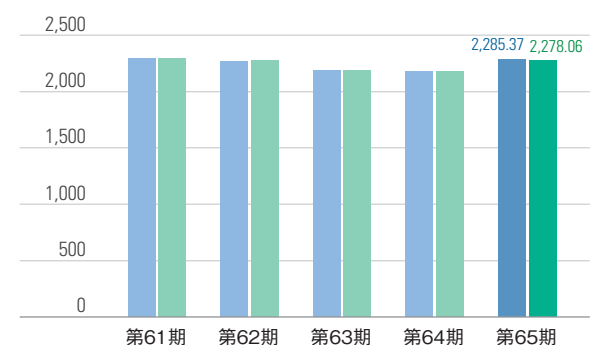
●当期純利益 (百万円)



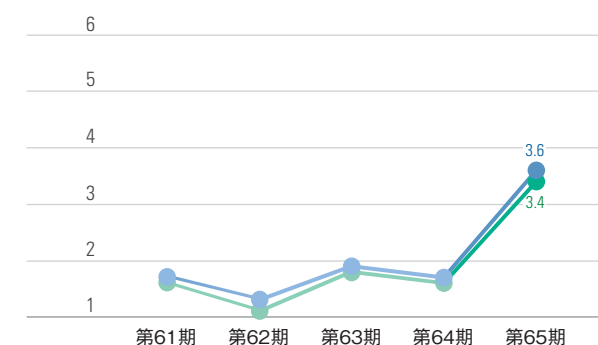
●1株当たり当期純利益 (円)



●1株当たり純資産額 (円)



●自己資本当期純利益率 (ROE) (%)



個別		第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
売上高	(百万円)	56,642	55,579	54,767	55,295	53,709
経常利益	(百万円)	2,650	2,011	3,877	5,777	6,759
当期純利益	(百万円)	1,946	1,370	2,231	1,829	4,141
純資産額	(百万円)	124,679	123,326	118,684	118,086	123,642
総資産額	(百万円)	168,508	157,613	146,368	134,514	141,533
1株当たり当期純利益	(円)	35.49	25.26	41.13	33.71	76.30
1株当たり純資産額	(円)	2,296.43	2,273.00	2,187.37	2,174.96	2,278.06
自己資本比率	(%)	74.0	78.2	81.1	87.8	87.4
自己資本当期純利益率	(%)	1.6	1.1	1.8	1.6	3.4
資本金	(百万円)	24,219	24,221	24,271	24,356	24,356
発行済株式総数	(株)	56,795,185	56,796,454	56,838,791	56,911,185	56,911,185
1株当たり配当金	(円)	24	28	28	30	32

## 事業の概況（連結）

### 当期の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、各国における景気対策効果や在庫調整の進展などに伴う輸出の改善や生産の回復が見られるなど最悪期は脱したものの、ドル安円高基調に加え、設備過剰感の下での設備投資の減少や景気低迷下での厳しい雇用・所得環境など引き続き厳しい状況下にありました。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制施策が引き続き推進されるなど一層厳しい状況にありましたほか、平成22年度薬価改定において新たに新薬創出・適応外薬解消等促進加算が試行的に導入される一方で長期収載医薬品の追加引下げなどが実施されることになりました。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業収益の悪化に伴うIT投資及び設備投資の大幅な減少や内需の低迷などを背景に依然として厳しい競争環境下にありました。

このような情勢の中で、医薬品事業におきましては、平成21年2月に新たに錠剤を発売いたしました前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ<sup>®</sup>」、同月に効能追加（チアゾリジン系薬剤との併用療法）の承認を取得いたしました糖尿病治療薬「グルファスト<sup>®</sup>」及び口腔乾燥症状改善薬「サラジェン<sup>®</sup>」の育成を図るとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。また、当社が創製し海外に技術導出した前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）につきまして、ワトソン社（アメリカ）では製品名「RAPAFLO<sup>®</sup>」として平成21年4月に、またチョンウェ製薬（韓国）では製品名「THRUPAS<sup>®</sup>」として平成21年9月に新発売いたしました。

研究開発面では、平成20年11月に共同開発先である日本ケミカルリサーチ株式会社より承認申請されました腎性貧血治療薬（遺伝子組換えヒトエリスロポエチン、開発番号JR-013）の承認取得に向けたフォローを行いましたほか、悪性中皮腫治療薬（抗CD26ヒト化抗体、開発番号YS110）の臨床試験を開始するなど、各テーマの研究開発を推進いたしました。JR-013につきましては、本年1月20日付けで「エポエチンアルファBS注JCR」として製造販売承認の取得がなされたことから、発売に向けた準備を進めました。また、中国において当社が承認申請を行っておりましたグルファストにつきましては、平成21年11月に承認を取得いたしました。販売は中国国内における販売権を供与いたしましたエーザイ株式会社が担当します。なお、当社が創製しグラクソ・スミスクライン社（イギリス）に技術導出した新規糖尿病治療薬レモグリフロジン（一般名）につきまして、同社ではSGLT2阻害剤の競合他社による開発状況等を勘案した結果、本剤の開発を中止することを決定しております。また、欧州におけるシロドシンの技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、欧州医薬品庁に承認申請を行っていましたが、本年1月29日付けで承認を取得いたしました。今後は欧州各国との薬価交渉を経て販売される予定です。

このほか、平成21年10月にユーシービージャパン株式会社が製造し当社が販売いたしております血圧降下薬「シナロング錠<sup>®</sup>10」の一部にプラセボ錠（有効成分を含まない試作品）が混入していたことが判明いたしましたことから、市場からの全品回収を行いました。シナロングにつきましては、本年2月末日をもって販売権を同社に返還いたしました。

その他の事業におきましては、グループ各社の事業構造改革とシナジー効果の創出によるグループ経営基盤の強化に積極的に取り組んでおります。経営資源の集中と効率化による事業強化を目的に、平成21年12月1日付けで連結子会社キッセイコムテック株式会社と非連結子会社キッセイウェルコム株式会社が合併いたしましたほか、本年3月1日付けで非連結子会社三井観光株式会社は連結子会社キッセイ商事株式会社の子会社となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は621億7千8百万円（前連結会計年度比3.7%減）、営業利益は65億8千4百万円（前連結会計年度比3.0%増）、経常利益は72億2千1百万円（前連結会計年度比17.0%増）、当期純利益は43億7千1百万円（前連結会計年度比112.1%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、医薬品事業におきましては新製品のユリーフ、グルファスト、サラジェンなどが増加いたしました。ライセンサアウトなどに伴う技術料売上が減少いたしましたほか、期中にシナロングの回収を行うと共に販売権を返還いたしましたこと、既存製品が後発品・競合品による影響などにより減少いたしましたことなどから、売上高は537億7百万円（前連結会計年度比2.9%減）となりました。その他の事業におきましては、情報サービス業及び物品販売業において増収となりましたが、建設請負業において減収となり、売上高は84億7千万円（前連結会計年度比8.3%減）となりました。

### 次期の見通し

医薬品業界は、本年4月に薬価改定が実施されましたほか、診療報酬改定におきましても後発品使用促進策が一層強化されましたことなどにより、引き続き厳しい環境下にあります。

その他の事業におきましても、デフレ深刻化の懸念や脆弱な内需基盤を背景に、依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。

このような情勢の中で当グループは、グループとしての相乗効果が発揮できる経営体質の確立を目指し、また、これまでの研究開発などへの投資の成果を結実させ、収益性の改善に取り組んでまいります。

次期の業績につきましては、売上高658億円、営業利益66億円、経常利益73億円、当期純利益47億円を目標に業績の確保に努力いたします。

### 対処すべき課題

製薬業界を取り巻く経営環境は激変の最中にあります。国家財政の逼迫を背景として医療保険制度の再構築が検討され、国内の医療用医薬品市場は今後も低成長に留まる見通しです。また、世界的に新薬シーズが枯渇している一方、技術革新によりバイオ医薬品をはじめとする新たなカテゴリーの医薬品が台頭し、新薬開発競争はますます熾烈を極めております。

このような経営環境下において、存在価値・意義のある創薬研究開発型企業として更なる成長のステージに進むべく、①国内医療用医薬品市場における確固たるマーケティング基盤の構築、②新薬を継続して発売できる研究開発体制の構築、③新たな収益基盤としての創薬によるライセンス収入の確立と拡大、④会社機能の強化・補完、効率化のための戦略的なアライアンスの推進、⑤グループ各社の事業構造改革とシナジー効果の創出によるグループ経営基盤の強化、を対処すべき課題として認識し、取り組んでまいります。



## 研究開発の状況

「創薬研究開発型企業」の実現を目指し、中期経営計画「チェンジングプラン」の基本方針の一つである「研究開発パイプラインの強化・充実」に向け、経営資源を重点領域に積極的に投入し、創薬研究に注力しています。また、臨床開発段階にあるテーマの開発を推進するとともに、市場競争力の高いテーマの導入によるパイプラインの充実を図っています。

### ● 自社

(平成22年5月現在)

開発段階	一般名/開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	KMV-0207	自社開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善	速効・短時間型インスリン分泌促進作用+ α-グルコシダーゼ阻害作用	ミチグリニド・ ボグリボース 配合剤
第Ⅲ相	KUC-7483	創製品	過活動膀胱	β3受容体刺激作用	
第Ⅱ相	KPS-0373	導入品/塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン (TRH) 作用	
第Ⅰ/Ⅱ相	YS110	導入品/ワイズセラピューティクス、 東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域: フランス
第Ⅰ相	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
	シロドシン/ KSO-0400	創製品	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用	1日1回投与
	オザグレル/ KCT-0809	テイカ製薬共同開発	ドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	

### ● 導出

開発段階	一般名/開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認取得	シロドシン (silodosin)	レコルダッチ (イタリア)	欧州、中東、アフリカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	ユーザイ (日本)	※1アセアン (10ヵ国)	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
		第一三共 (日本) シンモサ (台湾)	中国 台湾、香港	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
	シロドシン (silodosin)	ユーザイ (日本)	※2アセアン (10ヵ国)、 インド、スリランカ		
	第Ⅲ相	ミチグリニド (mitiglinide)	エリキシア (アメリカ) USV (インド)	北米、中米、南米 インド	2型糖尿病
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β2受容体刺激作用
	トラニラスト (tranilast)	ニューオンセラピューティクス (アメリカ)	日本、韓国を除く全世界	関節リウマチ、痛風に伴う高尿酸血症	免疫調整、抗炎症、尿酸排泄促進作用
第Ⅰ相	KGA-3235	大日本住友製薬 (日本) グラクソ・スミスクライン (イギリス)	日本 欧米他	2型糖尿病	SGLT1阻害作用
	ベドラドリン (bedradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β2受容体刺激作用

※1：承認：フィリピン、タイ/申請中：3ヵ国/申請準備中：5ヵ国

※2：申請中：アセアン2ヵ国

## トピックス

遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤

### エポエチンアルファBS注「JCR」 Epoetin Alfa BS Injection [JCR]



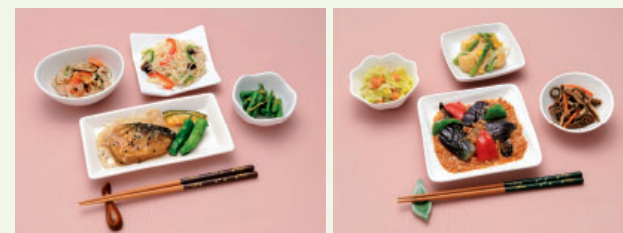
### 新発売

本年5月に、遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤 (EPO製剤) のバイオ後続品として国内初の製剤となる、「エポエチンアルファBS注 [JCR]」を発売いたしました。

「エポエチンアルファBS注 [JCR]」は、日本ケミカルリサーチ株式会社 (JCR社) の完全無血清培養技術によって製剤化されたEPO製剤です。本製剤は、当社とJCR社による共同開発を経た上で、平成20年11月にJCR社によって承認申請され、「透析施行中の腎性貧血」及び「未熟児貧血」を効能として本年1月に承認されました。腎性貧血は慢性透析患者さんの主たる合併症であり、造血因子であるエリスロポエチンの腎障害に伴う産生低下がその主因です。平成20年末時点の慢性透析患者数は約28万2千人に上り、この内多くの患者さんがEPO製剤による腎性貧血の治療を受けています。

本製品の販売は当社が単独で行い、医療機関への医薬情報提供活動は両社で実施します。当社は、腎性貧血治療の新たな選択肢となる「エポエチンアルファBS注 [JCR]」の提供を通じて、患者さんのQOLをはじめ、医療へのより大きな貢献を果たしていきたいと考えています。

### 新発売



<さばのごま醤油>

<麻婆なす>

が食べられる簡便さが特長です。

「ゆめごはん」では、昨年2月に発売し好評を頂いております1/35トレイ180gに、新しく「小盛り150g」を追加投入しました。おかずを豊かにする視点からごはんの量を抑えたい、180gではちょっと多くて食べ切れないといった、お客様の要望に応える製品となります。

在宅等で食事療法を実施されている方が、忙しくて調理ができない場合等に、「ゆめの食卓」「ゆめごはん」を一緒にお召し上がることで、調理せずに一食全体が用意でき、効果的なたんぱく質の摂取制限が可能となります。



お問い合わせ先：ヘルスケア事業部  
お客様相談センター：0120-515-260

# 財務諸表（連結）

## ●連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	前連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成22年3月31日現在)	期別 科目	前連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成22年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	82,028	85,639	流動負債	15,938	16,114
現金及び預金	16,801	22,644	支払手形及び買掛金	5,698	5,623
受取手形及び売掛金	23,085	22,062	短期借入金	2,402	2,213
有価証券	26,362	26,097	未払法人税等	521	2,300
たな卸資産	10,324	8,530	賞与引当金	1,937	2,045
繰延税金資産	1,952	2,412	その他の引当金	730	699
その他	3,577	3,905	その他	4,646	3,230
貸倒引当金	△74	△13	固定負債	5,827	6,686
固定資産	58,152	61,382	長期借入金	841	1,294
有形固定資産	28,368	27,827	繰延税金負債	—	168
建物及び構築物	11,922	12,154	退職給付引当金	3,434	3,719
土地	13,415	13,368	役員退職慰労引当金	103	115
建設仮勘定	16	23	その他	1,448	1,389
その他	3,014	2,281	負債合計	21,765	22,801
無形固定資産	2,251	1,810	<b>(純資産の部)</b>		
投資その他の資産	27,532	31,744	株主資本	117,204	119,857
投資有価証券	23,128	29,610	資本金	24,356	24,356
長期貸付金	493	377	資本剰余金	24,253	24,254
長期前払費用	214	64	利益剰余金	72,894	75,582
繰延税金資産	2,267	405	自己株式	△4,300	△4,336
その他	1,478	1,332	評価・換算差額等	1,044	4,182
貸倒引当金	△49	△45	その他有価証券評価差額金	1,044	4,182
資産合計	140,181	147,022	少数株主持分	165	181
			純資産合計	118,415	124,221
			負債純資産合計	140,181	147,022

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書

(単位：百万円)

期別 科目	前連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	64,535	62,178
売上原価	23,719	21,759
売上総利益	40,816	40,419
販売費及び一般管理費	34,422	33,834
営業利益	6,393	6,584
営業外収益	913	967
営業外費用	1,132	331
経常利益	6,174	7,221
特別利益	80	77
特別損失	2,896	682
税金等調整前当期純利益	3,358	6,616
法人税、住民税及び事業税	1,290	2,783
法人税等調整額	△4	△553
少数株主利益	12	15
当期純利益	2,061	4,371

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成21年3月31日残高	24,356	24,253	72,894	△4,300	117,204	1,044	1,044	165	118,415
連結会計年度中の変動額									
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△1,683	—	△1,683	—	—	—	△1,683
当期純利益	—	—	4,371	—	4,371	—	—	—	4,371
自己株式の取得	—	—	—	△37	△37	—	—	—	△37
自己株式の処分	—	0	—	1	1	—	—	—	1
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	3,137	3,137	15	3,152
連結会計年度中の変動額合計	—	0	2,688	△35	2,652	3,137	3,137	15	5,805
平成22年3月31日残高	24,356	24,254	75,582	△4,336	119,857	4,182	4,182	181	124,221

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期別 科目	前連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,579	10,695
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,655	△3,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,184	△1,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額	△3,261	6,048
現金及び現金同等物の期首残高	45,874	42,613
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	18
現金及び現金同等物の期末残高	42,613	48,681

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 財務諸表（個別）

### ●貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	前事業年度 (平成21年3月31日現在)	当事業年度 (平成22年3月31日現在)
<b>（資産の部）</b>			
流動資産		77,893	81,785
固定資産		56,621	59,748
有形固定資産		27,059	26,836
無形固定資産		2,270	1,605
投資その他の資産		27,291	31,305
資産合計		134,514	141,533
<b>（負債の部）</b>			
流動負債		11,350	12,315
固定負債		5,078	5,575
負債合計		16,428	17,891
<b>（純資産の部）</b>			
株主資本		117,035	119,458
資本金		24,356	24,356
資本剰余金		24,253	24,254
利益剰余金		72,725	75,183
自己株式		△4,300	△4,336
評価・換算差額等		1,051	4,184
純資産合計		118,086	123,642
負債純資産合計		134,514	141,533

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ●株主資本等変動計算書（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等	
平成21年3月31日残高	24,356	24,253	72,725	△4,300	117,035	1,051	1,051	118,086
事業年度中の変動額								
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△1,683	—	△1,683	—	—	△1,683
当期純利益	—	—	4,141	—	4,141	—	—	4,141
自己株式の取得	—	—	—	△37	△37	—	—	△37
自己株式の処分	—	0	—	1	1	—	—	1
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	3,132	3,132	3,132
事業年度中の変動額合計	—	0	2,458	△35	2,423	3,132	3,132	5,556
平成22年3月31日残高	24,356	24,254	75,183	△4,336	119,458	4,184	4,184	123,642

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ●損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	前事業年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	当事業年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高		55,295	53,709
売上原価		16,185	15,183
売上総利益		39,110	38,525
販売費及び一般管理費		33,145	32,425
営業利益		5,965	6,100
営業外収益		998	1,051
営業外費用		1,186	391
経常利益		5,777	6,759
特別利益		80	77
特別損失		2,893	620
税引前当期純利益		2,964	6,216
法人税、住民税及び事業税		1,230	2,570
法人税等調整額		△95	△495
当期純利益		1,829	4,141

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 製商品の紹介

### ●主な医療用医薬品

●その他代謝用薬	グルファスト錠	糖尿病治療薬
●神経系用薬	カバサル錠	パーキンソン病治療薬
●感覚器官用薬	リザベン点眼液	アレルギー性結膜炎治療薬
	リズモンTG点眼液	緑内障・高眼圧症治療薬
●循環器官用薬	ベザトールSR錠	高脂血症治療薬
	キサンボン注	脳循環改善薬
●消化器官用薬	サラジェン錠	口腔乾燥症状改善薬
	ガスコン	消化管内ガス駆除薬
	アラタ	胃・十二指腸潰瘍治療薬
●ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬	ユリーフ錠	排尿障害改善薬
	ウテメリン	切迫流・早産治療薬
	フラグミン静注	血液凝固阻止剤
	ゾラデックス1.8mgデポ	子宮内膜症治療薬
	フルスタン錠	活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤
●アレルギー用薬	リザベン	アレルギー性疾患治療薬
	ドメナン錠	気管支喘息治療薬

### ●主なヘルスケア食品

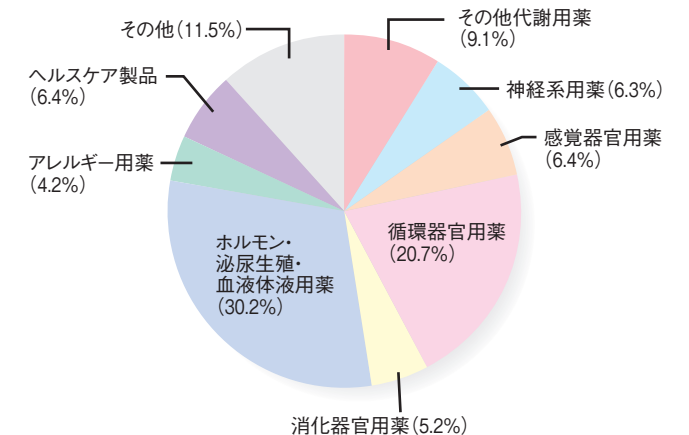
#### 介護・高齢者向け食品

新スルーキングi・・・お茶やジュース等の飲み物や食品の種類及び温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でにおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーパートナー・・・液状食品やミキサー食を見た目においしそうで食べやすいゼリー食にできる介護食調整用食品です。いろいろな食品を風味や色を変えずに固めることができ、冷たいままでも温めてもおいしく召し上がれます。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。調理済みのため加熱の必要はなく、開けてそのまま召し上がれます。いとより鯛、かに風味、ほたて風味、いわし、うなぎ、ポークしょうが焼があり、たんぱく質7gのぷり大根風味、さばの味噌煮もあります。また栄養強化タイプとして、カレー風味、ビーフシチュー風味、エビチリ風味、カキ風味の4種があります。

### ●売上高比率（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）



#### エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1個で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できるゼリーです。味の種類は、オレンジ、ウメ、カリン、マスカット、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

マクトンシリーズ・・・効率的に体内に吸収されエネルギーとなる中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品です。手軽に召しあがれるビスキーなどのほか、様々な料理にお使いいただけるオイル、パウダーもあります。

#### たんぱく質調整食品

ゆめごはん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしいパック入りごはんです。温めるだけで手軽にお召しあがりいただけます。

げんたうどん・そば・そうめん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしい乾麺です。



# 株式の状況

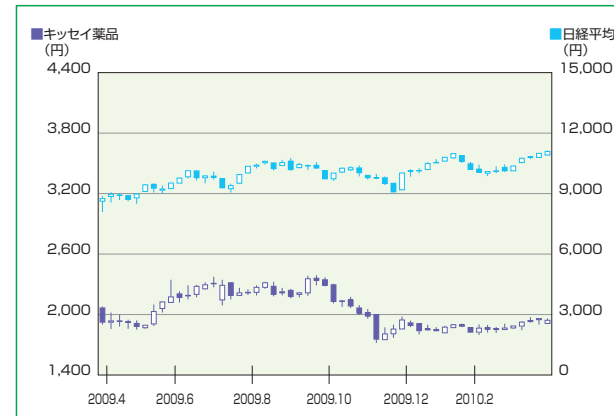
発行可能株式総数 227,000,000株  
 発行済株式の総数 56,911,185株  
 株主数 3,160名 (前期末比増減 126名増)

## ●大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
第一生命保険相互会社	3,418千株	6.3%
有限会社カンザワ	3,178	5.9
神澤邦雄	2,702	5.0
株式会社八十二銀行	2,670	4.9
株式会社みずほ銀行	2,670	4.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,575	4.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,703	3.1
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	1,494	2.8
神澤陸雄	1,492	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,479	2.7

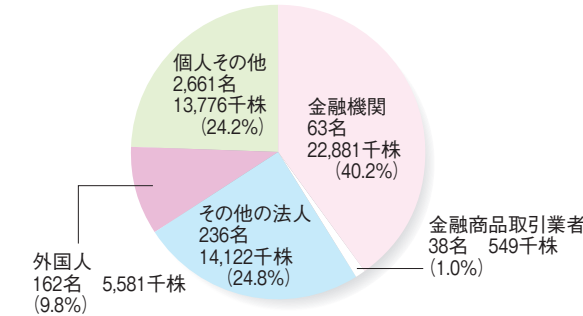
(注) 当社は自己株式2,635千株を保有しております。なお、出資比率は、発行済株式の総数から自己株式数を除いた株式数を基準に算出しております。

## ●株価チャート

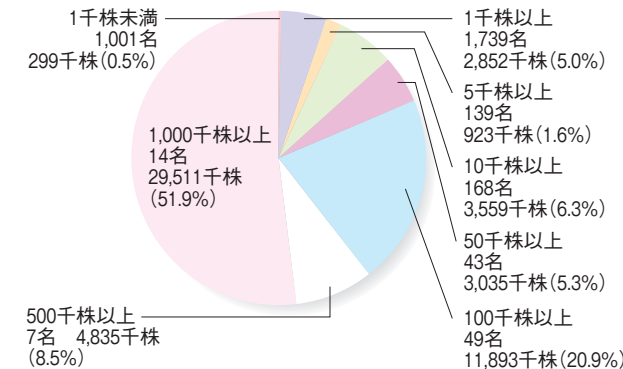


(平成22年 3月31日現在)

## ●所有者別分布



## ●所有株数別分布



# 会社の概要

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**  
 英文名称 **KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.**  
 設立 昭和21年 8月 9日  
 資本金 24,356,653,478円  
 主要事業内容 医療用医薬品の製造販売  
 本社 長野県松本市芳野19番48号  
 電話 (0263) 25-9081 〒399-8710  
 東京本社 東京都中央区日本橋室町一丁目 8番 9号  
 電話 (03) 3279-2761 〒103-0022  
 東京本社(小石川) 東京都文京区小石川三丁目 1番 3号  
 支店 札幌支店、仙台支店、関越支店(さいたま市)、東京支店、横浜支店、松本支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、高松支店、広島支店、福岡支店  
 (注) 支店の下に37営業所を設置しております。  
 工場 松本工場、塩尻工場(物流センター含む)  
 研究所 中央研究所・第二研究所・製剤研究所(長野県安曇野市)、上越化学研究所(新潟県上越市)、ヘルスケア事業センター(長野県塩尻市)  
 従業員数 1,576名

(平成22年 3月31日現在)

代表取締役社長 神澤邦雄  
 代表取締役社長 神澤陸雄  
 取締役副社長 神澤浩  
 専務取締役 神澤幸義  
 常務取締役 柳澤圭一郎  
 常務取締役 降旗征一郎  
 取締役 足立寿喜夫  
 取締役 赤羽増夫  
 取締役 御子柴今雄  
 取締役 佐藤公信  
 取締役 両角正安  
 取締役 中降篤男  
 取締役 矢花哲志  
 取締役 久保澤野  
 取締役 熊上野紘

## ホームページのご案内

タイムリーな情報をホームページで提供しています。



URL : <http://www.kissei.co.jp/>

## アニュアルレポート

ホームページ(English Page)にも掲載しています。



資料請求のご連絡先: 広報部 TEL: 0263-25-9523 (土日祝日、当社休日を除く月~金 8:40~17:20)

## CSR報告書

CSR経営の様々な活動を「CSR報告書」としてまとめています。

